

すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会（第24回）会議録（概要）

- 1 開催日時 平成28年（2016年）10月3日（月） 10時08分～11時25分
- 2 開催場所 吹田市役所 特別会議室
- 3 出席者名簿 別紙「出席者一覧」のとおり
- 4 配付資料 資料1 持参率の現状について
資料2 平成28年度レジ袋削減・マイバッグ持参と携帯促進啓発について
資料3 第4回北摂地域マイバッグキャンペーンについて

5 議案

- (1) 持参率の現状について（報告）
- (2) 平成28年度レジ袋削減・マイバッグ等持参と携帯促進啓発について
- (3) 第4回北摂地域マイバッグキャンペーンについて
- (4) その他

6 会議要旨

- (1) 持参率の現状について（報告）

【事務局】 ～資料1に基づき説明～

【会長】 事務局より持参率の報告があったが、この件について意見はないか。意見がないようであれば次に進みたい。

- (2) 平成28年度レジ袋・マイバッグ等持参と携帯促進啓発について

- ① すいたマイバッグキャンペーン

【事務局】 ～資料2に基づき説明～

【会長】 事務局より説明があったが、10月7日のキャンペーンが目の前であるということと事前に各団体と話し合ってもらっているということだが、この件について質問はないか。事業者Aさんはもう打ち合わせをしてもらっているのか。

【事業者A】 10月7日については、当初提案されていた日程とは違うが、吹田店のリニューアルオープンがあり、一番集客が見込まれるため、その日に合わせて開催することとなった。チラシに掲載もしており、より効果的かと思う。

【会長】 市民団体さんは何か質問や意見はないか。

【市民団体A】 いつも思うが、お店によって温度差がある。協議会の場に出てこられている方々は熱心に取り組まれていると思うが、店長さんのところに要望が通じないと思う。店長さんとは事前に話をしておいてもらいたい。

【会長】 市民部会は何団体あるのか。

【事務局】 5団体に依頼させてもらっている。廃棄物減量等推進員さんは、代表でこち

らの協議会に出席していただいているが、地区ごとの推進員さんにもお声掛けさせていただいている。

【会長】ほかに意見はないか。今出てきた意見はなかなか難しい意見で、現場側は売上とかお客さんの動線を気にしなければならないと思う。できたらキャンペーン開催前に挨拶に行くなどの対応をしてもらいたい。

② 吹田環境教育フェスタについて

【市民団体B】～資料2に基づき報告～

【会長】ただいま、環境教育フェスタについて報告があった。毎年、出展しており各事業者さんよりパネルを借り展示しているのでまた協力をお願いしたい。各事業者さんにはもう依頼しているのか。

【事務局】依頼についてはこれからさせていただくことになる。

③ 第4回北摂地域共通マイバッグキャンペーンについて

【事務局】～資料3に基づき説明～

【会長】事務局より報告があった。詳細が決まり次第、各事業や市民団体に連絡がいくということなので協力をお願いしたい。この件について質問や意見はないか。なければ、次に進みたい。

(4) その他

【会長】各事業者から思うままのご意見をいただきたい。

【事業者B】前回の協議会や、北摂地域の集まりでも言ったことだが、我々の最終目標は有料化である。一企業だけで行なうことは難しいところがあるので、他企業も一緒に取り組んでいきたい。ベクトルは合ってきたと感じているので、行政からの後押しが必要である。前向きに検討いただきたい。また、前回の協議会で今のままでは持参率が伸びないので、マイバッグ携帯を進めるために、持ち運びできるマイバッグはないのかという話があったので本日持参している。1つ100円のものでレジ袋を有料化する店舗で無料配布しているものをお持ちした。また、日本チェーンストア協会で作成したマイバッグもある。これはストックが1000個ほどある。今月、豊中でマイバッグを配るキャンペーンがあるが、その時に日本チェーンストアのマイバッグと一緒に配布する。吹田市もチラシではなくマイバッグを配布すべきである。もし配布するのであれば日本チェーンストア協会としても協力する。行政と事業者が一緒になってやっているという形でマイバッグを配布すればいい。有料化がまだ難しいのであれば、少しでもレジ袋を減らそうという気持ちで動いているのでお知りおきいただきたい。また、今おしゃれなマイバッグを作成中である。女性が持ってもおしゃれでファッション性のあるものを来年の春ごろから販売できるようにしたい。北摂はおしゃれな人が多いので、効果的だと感じている。市民団体さんにもアピールしてもらいたいと思っている。また、当社では、毎年6月と10月にエコ月間という形で環境

取り組みを行なっている。店頭で見かけたらご応募いただきたいと思う。もし店頭で出てないようであれば教えて貰えたら店長に指導させてもらおう。

【事業者A】 南千里店の持参率が81%で頭打ちであり昨年と比べたら下がっている。北千里店は84%で昨年に比べて2.7ポイント上がっている。この差は何かと聞くと、まず従業員がマイバッグ持参率100%でないかというので、店舗で買い物をする従業員に対する啓発を行なっていたということであった。従業員相手であればお客様相手であるよりも声掛けをしやすいこともあり、そういう取り組みをしている。この取り組みをいかに水平展開できるのかというのが今後の課題である。

【事業者C】 弊社は今まで、レジ袋を辞退された方でポイントカードを持っている場合のみエコポイントを付与させてもらっていたが、6月よりポイントカードの有無は関係なくレジ袋を辞退した方全員を2円引きするという形に変更した。一般客だけでなく従業員も対象になるので、まずは従業員から持参率を上げていきたいと思っており社内啓発を行なっている。またポスター作成も考えている。これをきっかけに持参率を上げていきたいと思う。

【事業者D】 先ほど事業者Bさんのお話にマイバッグの提供というものがあったが、イベント時に企業に「こんなことできないか」と投げかけてもらったら協力できることがたくさんあると思う。10月は3R推進月間ということで、弊社ではマイバッグの持参と併せて、店頭でのトレーや牛乳パックのリサイクルを呼びかける取組をしている。全店共通の館内放送を30分に1回流したり、レジの声掛け、ポスターの掲示で啓発している。また、環境グッズであれば提供できるので協力したい。弊社だけではなかなか難しいと思うので、他の事業者さんにお声掛けしていただければ他のかたちで協力していただけることもあるかと思うので、そういう関係を深めていっていただきたい。次に、先般、北摂地域の会合があったが吹田市は市民団体と行政と企業が話し合える場を持っているということで、ダントツで先に進んでいると思う。北摂地域に取組みをPRし、吹田市がリーダーシップを持って北摂への広がりを持っていってほしいと思っているので行政に期待したい。

【事業者E】 レジ袋の有料化をできれば吹田市に限らず行っていきたいと考えているが、他のスーパーさんとの兼ね合いがあると思うので、事業者Bさんがおっしゃられていたように行政にバックアップしていただき実現できたらと思う。また、各社さんのマイバッグの取組について携帯というかたちで取り組まれているが、弊社では携帯というところまではまだ取り組めていないように感じる。おしゃれで使い勝手のいい大きいバッグをいろいろ提案し、導入しているが高くて千円くらいする。小さくて簡単に持ち歩けるものを力をいれて考えていかなければならないと思っている。また、今年度、吹田市に新しい店舗を2店舗オープンしたがマイバッグの持参率に関しては、非常に苦戦しているというところである。他の店舗は持参率が40%後半くらいだが新

規店舗については30%前半になっているのでこちらの啓蒙をしていかなければならないと思っている。今回のキャンペーンでこの2店舗をさせてもらうので、その結果どんな効果があるのか楽しみにしている。あと、店長によっては協力依頼をしているが、営業の方に気が回って協力できてないことが吹田市に限らずある。そういった場合は、こちらに通報してもらいたい。キャンペーンに参加すると意思表示した時点で、すべてにおいて協力することが当然だと思っているのでそれができていないのであれば店長に指導しなければならないので是非、お願いしたい。

【事業者F】 弊社は吹田市に2店舗展開しているが、マイバッグの持参率が直近の数値で30%を切ってしまっている。小さい店舗で、お客様がレジ袋を求めるニーズが高いのではないかと考えているが、それにしても持参率が低すぎると思う。従業員への指導の徹底や事務局からの発信などできるところから取り組んでいき1%でもあげていきたいと思う。レジ袋の有料化については、昨年度、10月から京都市内の店舗がすべて有料化ということで足並みをそろえて行政からの声掛けで進めてきているが、相当改善している。圧倒的に数字が変わってくると思うので是非お願いしたい。

【事業者G】 もともと兵庫県が活動エリアでそちらのほうではずいぶん前から持参率は90%以上ある。数年前に大阪と合併してから、大阪ではシールを20枚貯めたら100円引きという従来の仕組みのまま手つかずであった。北摂だけの持参率の8月累計が41.3%ということで吹田市の平均より低いような状況。見ても袋を貰えるのが当たり前と思っているお客様が多いように感じている。協働組合なので新加入してもらえれば必ずマイバッグをお渡しし、次回から使ってもらうようお願いしているが、なかなかそれも持参いただけないし、店内で販売しているものもなかなか売っていないのが現状である。個人的に環境に関する意識が低いのではないかと考えている。マイバッグを持参している方も、兵庫県では「お金とられるから」、大阪では「値引きしてくれるから」という意識だけで、本当に環境の問題含めてマイバッグ利用いただいているのかと疑問に感じている。また我々は環境基金があり環境学習に使ったり、環境保全活動に使ったり、地産地消に使ったり、環境活動している団体に助成金を出しているがこの制度が広まっていない。市民の意識を変えていく必要があると思う。レジ袋の有料化については2年後か3年後には完全有料化という目標を立てて取り組んでいかなければ、今のやり方であれば持参率を1%、2%上げるのが精いっぱいなぜマイバッグなのかという意識がなかなか改善されないと思う。北摂全体では無理かもしれないが吹田市と豊中さんであれば先行してできると思うので是非やっていただけたらと思う。

【会長】 市民の意識を変えることが大事であるという意見があった。市民に対してどう取り組んでいくべきか、市民団体さんはどう思うか。

【市民団体A】 有料化のご意見があったが質問したい。行政の後押しがあれば有料化でき

るとのことだったが、協議会に入っていないスーパーさんが多くあると思うが、そちらに客がとられるという心配はしない方がいいのか。

【事業者B】 我々が行政に協力を依頼しているのは、従業員や店舗がお客様に対して説明するときに行政のバックアップがなく独自で有料化した場合になぜなのかという理由を聞かれる。吹田市で有料化を踏み切ってもらえれば、我々はとてもやりやすい。吹田市からの要望により、行政・市民・事業者が協働して環境保全に貢献しようという取組みだからという大義名分ができる。これはとても大きなこと。そのために行政への協力依頼を行なっている。環境保全に貢献している企業は「グッド・カンパニー」と呼ばれている。日本チェーンストア協会に加入している企業はグッド・カンパニーとして評価が上がると思う。北摂地域の市民さんは理解してもらえと思う。そのためにも行政協力は不可欠であると考えている

【市民団体A】 事業者Aさんが無料配布を中止し、有料化を行なった際に持参率が上昇した。持参率60%をやはり有料化を目指さないといけないと思う。今すぐということは難しいと思うが、期限を決めて豊中市と吹田市と一緒に有料化を進めていくべき。レジ袋の無料配布中止、持参率アップを吹田市の計画にあげて取り組むべき時期ではないかと思う

【市民団体C】 私達の世代は、マイバッグを持参して当たり前という考え。買い物かごを持って買い物に行くという経験がない若い人たちはレジ袋を貰うことが当たり前だと思っている。根本的に資源の大切さを勉強してもらいたい

【市民団体C】 地域ごとでレジ袋の持参率が違う理由を考えると持参率を上げる方法が見えてくるのではないかと。有料化も大事だが、環境に関する意識を高める方法を考えたいと思った。

【市民団体B】 個人的に事業者Aの南千里店と北千里店によく買い物に行くが、有料化に踏み切った時は、戸惑いの声を聞くこともあったが今では有料で当然と思っているように感じる。有料化に踏み切っていない業者さんもそんなに心配されることはないのではないかと思う。行政の力は非常に大きな後押しになると思うので、吹田市は環境問題に取り組んでいてレジ袋は有料化するというのを全面的に押し出せば絶対に成功する。若い人でもレジ袋はお金がかかるのが当然という理解をしてもらえと思う。時期を決めて吹田市がリーダーシップをとって頂きたい。

【会長】 色々な意見を聞かせていただいた。たくさん問題が出てきているように思う。これは今まで取り組んでいただいた結果の表れだと思う。やはり、完全有料化に持っていく努力をしなければならない時期だという認識を持たなければならない。これは1事業者だけでできる問題でもないし、1市民団体だけでできることではない。あくまでも、この協議会の総意を持って、市長の御理解もいただかなければならない。担当部長も含めて話をしながら市長権限でできるかどうかも含めてこれから話し合ってい

かなければならないこと。市民の意識を変えていかなければならないということは以前から言ってきたことであり、市民団体でも温度差がある。他人事でなく自分たちが市民意識を変える方向性で考えなければならぬ。コンビニと一線を画した状況でどういった手を打っていくのが大事になる。また、行政で様々なキャンペーンを行なっているが、配られるのはティッシュであるが、小さなマイバッグであればティッシュと大きさがさほど変わらない。強度もあるし、予算設計をし配れるものは市民に配ればいいのか。市民体育祭や敬老会などで配ることは可能だと思う。間違っても事業者さんに負担をかけることはないし、市民団体は自分たちでできることをしていただければいい。

【事業者H】 言いにくいことがあることは行政にバックアップしてもらえればいいのかと思う。ごみ箱に灰皿があってずっとやめてもらいたいと思っていたが動けなかった。そんな時、吹田市から禁煙エリアの話があって、それでやめることができた。行政のおかげでとてもやりやすかった。持参率を上げようとなると、目先のことでなく発想を変えなければならぬのではないか。

【会長】 商店街に来られるお客さんのマイバッグ使用率はどのくらいなのか。

【事業者H】 全体の1割程度である。ただ、いろんなお店で宣伝も兼ねて袋を渡されているということもあるので、商店街としては足並みが揃わないこともある。ひとつひとつ前向きに進めていかなければならないと思っている。

【会長】 他に何かあるか

【市民団体B】 行政はこの協議会にコンビニやドラッグストアに加入してもらおうような働きかけを何か行っているのか。

【会長】 それはできない。あまりたくさん事業者さんを入れてしまうと話が纏まらなくなってしまう。物を売っているというのは同じだがスーパーとコンビニでは考えが全然違う。何とかレジ袋削減に取り組んでももらいたいと声をかけて集まってもらったのが今の事業者さんになる。

【事務局】 事業者Bさんからチェーンストア協会からのマイバッグを提供のお話があったが、チェーンストア協会に直接依頼させていただいたらご提供いただけるのか。

【事業者B】 チェーンストア協会の関西支部が弊社にあるので電話をいただけたらすぐに担当者に代わらせてもらう。それでチェーンストア協会に依頼を貰ったということになる。

【事務局】 せっかくだらマイバッグを作製されているので是非活用させてもらいたい。

【会長】 やはり、目で見て触ってみなければわからない。今回見せていただいたマイバッグは小さくて強度もあるのでとてもいい。キャンペーンに限らずできるだけみんなに渡せたら意識が高まってくると思う。他にないか。ないようであれば最後に環境部長からご意見をいただきたい

【環境部長】 本当に貴重な参考になる意見をたくさんいただいた。事業者さんの積極的な取り組みや前向きな意見や本音の話までいただいて、市民団体さんからもご意見をいただいた。学生さんに協力していただくのも非常に大事であると思う。あとは行政がどこまでできるかということになるが、他市との連携ももっと深めていかなければならないし、会長がおっしゃられていたようにキャンペーンで配布できるものがあれば配布していきたいと思う。ここで具体的なことは言えないが、いただいた意見を参考にして行政も取り組んでいきたいと思う。

【会長】 以上で終了とする。